

# 協 会 記 事

平成20年4月25日(金)、旭川グランドホテルにおいて、第44回通常総会を開催し、平成19年度事業報告・決算報告および監査報告、平成20年度事業計画および予算等について審議し、いずれも可決承認されました。それらの概要を報告します。

## 平成19年度事業報告および決算報告

### 1 平成19年度事業報告

#### 1 会員の動向

年度当初228名であった会員数が年度末213名となり、15名の会員減となりました。

#### 2 諸会議の開催

平成19年4月25日第1回理事会および第43回通常総会、平成20年2月19日第2回理事会を開催しました。

#### 3 出版事業

機関誌「ウッディエイジ（木材の研究と普及）」を644号から655号まで月刊で発行しました。

#### 4 講演会、講習会等の開催

平成19年4月25日の総会時において、総会記念特別講演「木質循環利用への期待と課題」（筑波大学名誉教授・（社）日本木材加工技術協会会長富田文一郎氏）を開催し、平成20年3月25日に北海道（道立林産試験場、上川支庁）と共催で特別講演「わが国森林・林業・木材産業の再生策」（鹿児島大学農学部教授遠藤日雄氏）を開催しました。また、平成20年2月29日に北海道集成材工業会、（社）日本木材加工協会北海道支部、北海道木材産業協同組合連合会と共催で北海道木材加工団体合同講演会「木質建材を再考する」を開催し、（社）日本木材加工協会北海道支部と共催で「木材乾燥講習会」を実施しました。そのほか、「2008木製サッシフォーラム」（主催：道立林産試験場、北海道木製窓協会）への後援を行いました。

#### 5 受託事業

- (1) 道立林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」業務を受託しました。
- (2) 社団法人北海道林産物検査会より「保存処理構造用製材等の吸収量分析試験」を受託しました。

#### 6 普及事業

##### (1) 木製品普及事業

一般市民、学校等に対し、簡易な木工材料や木製品を提供しました。

##### (2) 「木のグランドフェア」事業

平成19年7月28日から8月26日までの間、道立林産試験場と共催で「木のグランドフェア」を開催しました。期間中の中の入場者等は約3,400名でした。主な内容は次のとおりです。

###### ①木になるフェスティバル～オープニングイベント～

オープン初日の7月28日(土)に、「チャレンジ木工教室」「木のおもしろ実験」「りんさんし探検隊」、「きのこ収穫体験」、「上川支庁コーナー」、「当協会コーナー」など19種の催しを行いました。

###### ②第15回北海道こども木工作品コンクール

応募参加作品19校174点で、グランドフェア開催期間中、「木と暮らしの情報館」に展示しました。

#### 7 会員企業支援事業

「会員企業支援事業実施規定」（平成16年4月23日制定）に基づき、同事業を実施し、応募企業3社6件に対し助成を行いました。

## II 平成19年度収支決算（単位：円）

収入の部		支出の部	
会費収入	3,734,000	事業費	8,294,558
公益事業収入	833,965	管理費	4,979,753
受託事業収入	5,384,000	次期繰越金	1,680,270
雑収入	913,090		
前期繰越金	4,089,526		
計	14,954,581	計	14,954,581

## 平成20年度事業計画および予算

### I 平成20年度事業計画

#### 1 諸会議の開催

平成20年4月25日、平成20年度第1回理事会および第44回通常総会を開催します。

#### 2 公益法人制度改革への対応

新法人制度への対応を検討します。

#### 3 出版事業

機関誌「ウッドイエジ（木材の研究と普及）」を月刊で発行します。

#### 4 講演会、講習会の開催

第44回通常総会時に記念講演（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授信田聡氏による「エクステリアウツドの利用と課題」）を開催します。また、「木材乾燥講習会」を実施します。

#### 5 受託事業

- (1) 道立林産試験場より「きのこ栽培試験管理業務」の業務を受託します。
- (2) 道立林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」の業務を受託します。
- (3) 社団法人北海道林産物検査会より「保存処理構造用製材等の吸収量分析試験」を受託します。
- (4) 財団法人日本住宅・木材技術センターより「技術相談業務」等を受託します。

#### 6 普及事業

「木のグランドフェア」などを道立林産試験場と共同で開催し、木材利用の普及・啓発に努めます。

#### 7 各種講演会、研究会、大会等への後援および協賛

道立林産試験場または各種団体が実施する事業で、当協会の趣旨に合致する事業に後援または協賛します。

#### 8 会員企業支援事業

「会員企業支援事業実施規定」（平成16年4月23日制定）に基づき、同事業を実施し、助成を行います。

## II 平成20年度収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
会費収入	3,599,000	事業費	15,375,000
公益事業収入	780,000	管理費	5,125,000
受託事業収入	16,250,000	予備費	200,000
雑収入	85,000	次期繰越金	1,694,270
前期繰越金	1,680,270		
計	23,894,270	計	23,894,270